

「白い小箱」箱詰め

災害備え四日市市南高生ら

四日市市の四日市南「イレ」などが入った「白
高校PTAは災害時に「白い小箱」を購入する。
備え、非常食や簡易ト「生徒四人が六日、箱詰

非常食などを「白い小箱」に詰める利用者と四
日市南高の生徒。四日市市の「みのり工房」で



めを請け負う市内の障
害者就労支援事業所
「みのり工房」を訪
れ、利用者と一緒に作
業した。

白い小箱は日本非常
食推進機構(四日市
市)が販売する備蓄セ

ット。県内の高校が購
入するのは、四日市南
で十三校目になる。P
TAは一個千二百十円
(税別)のセットを全
生徒と職員に分、計千
三十個を注文してお
り、今月中に納品され
る予定。

購入に当たって、生
徒に防災意識を高めて
もらおうと、ボランテ
ア活動に取り組み
インターアクト部の四
た。(河崎裕介)

部長の榎田葉さん
(二年)は「災害時に
何が必要がよく分かっ
た。家でも備えを充実
させたい」と話してい